

きらめき朝日

令和8年2月16日号

校長 横井 真人



受験は団体戦

3年生の受験がスタートしています

今年度から公立高校の受験の仕組みが大きく変わりました。まず試験の日程が前期と後期に別れ、受験する機会が最大2回に増えたことが大きな特徴です。試験の内容も前期は調査書や論文、面接などが中心となり、後期は今までと同じ学力試験になります。出願もWEB形式となり、3年生保護者の皆様には、進路説明会の時に出願の練習体験をしていただきました。また、12月中に出願の準備、1月5日から出願とお忙しい日程の中で受験のための準備をしていただいたことに感謝申し上げたいと思います。学校としても、間違いがないよう、3年主任担任が近隣の学校と連絡を取り合いながら、また、教頭が得意のICT技術を生かして県教委と連絡を取りながら準備を進めてきた次第です。来年度は1月4日から出願が始まります。今年よりも1日早い日程です。県教委にはやり方や日程について、学校現場から様々な意見を届けております。入試制度につきましてはこれからも様々な改善が予想されます。その都度、保護者の皆様とも情報を共有して行きたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

……生徒の皆さんへ……

さて、3年生の受験シーズンは進んでおりますが、以前から表題の通り「受験は団体戦」と言われ続けてきました。3年生の中学校生活のゴールはあくまでも卒業式であり、受験ではありません。そもそも受験は私立受験の人、公立受験の人によって日程が違います。自分の受験が終わったからと言って中学校生活が終わるわけではないのです。特に3年生の皆さんは、授業に向かう主体的な態度、自分の目標に向かっての意欲的な学びなどこの3年間を通して素晴らしい成長を見せてきました。3年生全体の「見える学力」は近年にないほど高い伸びを見せています。この伸びの力になったのは、まさしく「学習に対する主体的な態度」であると私は感じています。そしてこの「主体的」な姿勢はこれからの1人ひとりの人生に大きく影響するものでもあります。結婚式のお祝いで、ご祝儀袋に毛筆で名前を書こうとしたら何に注意して書くのか、どのバランスで書くのか、この部分は小さく、そしてこの部分は大きくなどと考えるのはすべて主体的な学びが根本にあり、これが探究的な学習に結びつくものです。3年生の皆さんは自然にこの学習を身につけてきました。ぜひ卒業式まで、この主体的な学びをもっともっと身につけて欲しい、と願っています。そして1・2年生の皆さんは3年生の先輩方の姿をしっかりと見て学び、自分たちもそうありたいと自覚してもらい、来年再来年実行してほしいと強く願っています。

3年生への激励の数々



来年度の部活動について

令和5年から保護者の皆様には、令和8年度から休日の部活動がなくなることを様々な場面でお伝えしてきました。いよいよ4月から休日の部活動がなくなります。休日の部活動がなくなると、子どもたちはどう時間を過ごすのだろうか、ということに私はとても関心があります。私(横井)が部活動の顧問を引退し、管理職になって直接指導が出来なくなったときと状況が非常に重なるからです。私の場合は山間の小さな学校に赴任したため、農業に強くふれあったこと、ちょうどコロナの時期で家から出られない時間が多かったことにより、家庭菜園をはじめてみました。

せっかく自由に自分が選択できる機会ができたのだから、ただ、無駄に時間を過ごすということではなく、体を動かしたり、本を読んだり、ボランティアをしたり、自分が主体的にやれるものを選んで取り組んで欲しいと思います。

自分の身の回りの環境を認識しながら、自分が何に取り組んで「幸せ」を求めていくか。生き方を考える絶好の機会にしてほしいと願っています。